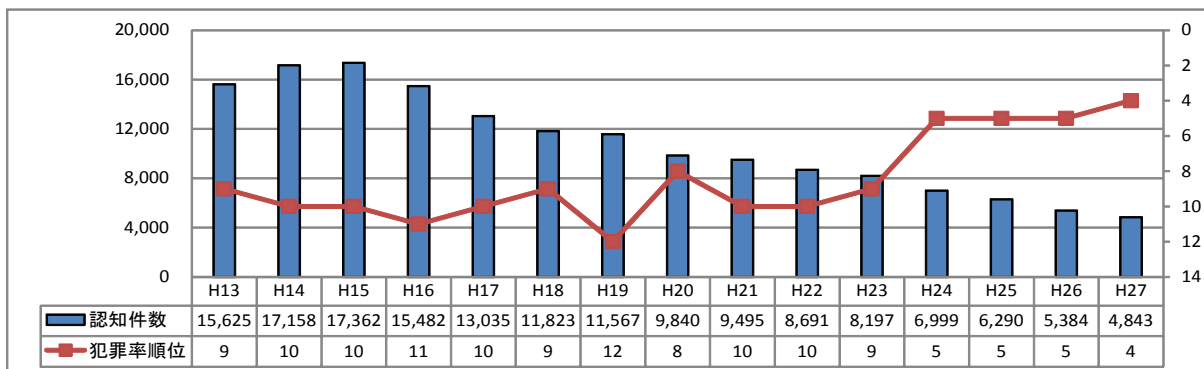


**「刑法犯認知件数」(犯罪)が12年連続減少!!**  
～ 一方で特殊詐欺被害は増加 ～

1 刑法犯認知件数等の推移 (過去15年)

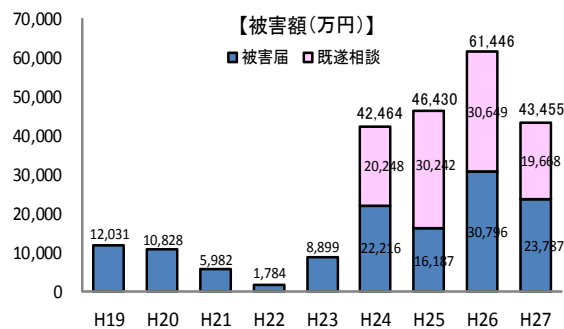
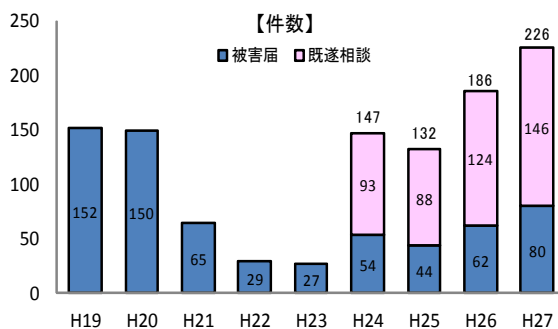


- 平成27年の大分県内における「刑法犯認知件数」(被害の認知)は、平成26年《5,384件》⇒平成27年《4,843件(暫定値)》となり、過去最少を記録するとともに平成16年から12年連続して減少しました。
- 犯罪率全国第4位  
(※人口10万人当たりの刑法犯認知件数が少ない順番です。大分県は全国で、良い方から4番目に安全な県となっています。)

2 特殊詐欺被害の増加

(1) 認知件数・被害額

- 認知件数 226件 (前年比+40件)
- 被害総額 約4億3,500万円 (前年比-1億8,000万円)



(2) 増加した詐欺手口 (トップ3)

- 架空請求詐欺～「有料サイト(アダルトサイト等)の利用料金(解約料)が未納」などとお金をだまし取る手口など (110件、前年比+33件)
- 還付金等詐欺～「医療費や年金の還付金がある」とATMを操作させてお金をだまし取る手口 (41件、同+21件)
- オレオレ詐欺～息子などを装って「夫のいる女性を妊娠させた」等、様々なトラブルを回避する名目でお金をだまし取る手口 (35件、同+29件)

※上記3つの手口で被害全体の8割を占める。

# 特殊詐欺被害防止対策!!

～ 携帯電話機の「番号非通知拒否設定」でシャットアウト ～

## 1 還付金等詐欺の発生状況と手口 (H27年)

- (1) 発生状況 (医療費等の還付金名目)
- ・被害者数 41名
  - ・被害金額 約3,400万円



### (2) 詐欺の手口

- ① 犯人は市役所等職員の他、銀行等の金融機関職員をかたる
- ② 「還付の手続きはATMでできる」と自宅近くのスーパー等、金融機関以外に設置されているATMに誘い出す
- ③ 携帯電話を使用してATMの操作方法を指示するなど、犯人は言葉巧みに被害者をだまし、被害者の口座から犯人の口座へとお金を送金させます。

※2月16日から確定申告の受付が始まりますが、この時期を狙い

○「払いすぎたお金を払い戻します」○「手続きが今日までですので急いでください」  
等と電話がかかってくるのが予想されます。

## 2 被害防止対策

- (1) 絶対に覚えておくこと

**ATMで医療費等の還付手続きはできない**

- (2) 携帯電話機の『非通知番号拒否設定』の有効性

**現状**

→ 還付金詐欺の手口で被害にあったケースのうち、  
犯人グループからの電話、4割が「番号非通知」

**「被害にあわないために」**

犯人グループからの「番号非通知」での騙しの電話を遮断することができる、

**「番号通知お願いサービス」**の利用をおすすめします。

※ただし、騙しの電話全てを遮断するわけではなく、「番号非通知」に限ります。

- (3) 設定方法

**「番号通知お願いサービス」の設定方法(NTTドコモ)**

「148」にダイヤル

「1」を押す

設定完了

※「全て無料」 サービスの「開始」「停止」など各種操作の通話料はかかりません

**「番号通知リクエストサービス」の設定方法(au)**

「1481」にダイヤル

設定完了

※「月額使用料無料」

※ソフトバンクについては、携帯電話機の機種により設定方法が変わります。  
ショップスタッフにお問い合わせください。

